

SQC勉強会(0)改定版 (事前のご案内)

勉強会前のお願い

- ノートPCをご用意ください。
 - 利用するソフトウェアの事前インストールをお願いします。
 - 統計ソフト「R」と関連パッケージ
 - …毎回使います。(必須)
 - データ加工用ソフト「Pentaho」
 - …初回 + α のみですので興味があったらご用意ください。
- (任意)

Rのインストール (Windows)

Rのインストール

- Rのインストール
 - 以下のページからWindows版のインストーラ (exe形式)をダウンロードします。
<http://cran.md.tsukuba.ac.jp/bin/windows/base/>
 - インストーラをダブルクリックし、Rのベースパッケージをインストールします。

RcmdrPlugin.Qctools (SQC用プラグイン)のインストール(1)

2009年11月11日

- RコマンドのSQC用プラグインは関西大学の荒木先生が開発された便利なツールです。
- 荒木先生のサイトからプラグイン「RcmdrPlugin.QCtools_1.02.zip」をダウンロードします。

<http://www.ec.kansai-u.ac.jp/user/arakit/RcmdrPlugin.QCtools.html>

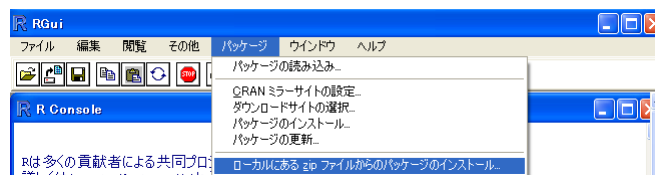


7.

RcmdrPlugin.Qctools (SQC用プラグイン)のインストール(2)

2009年11月11日

- Rguiから「パッケージ」⇒「ローカルにあるZip...」を選択し、前頁でダウンロードしたZipファイルを取り込みます。



- 自動インストールが始まり、コマンドラインで正常終了の結果が出ればOKです。

QC勉強会資料

8.

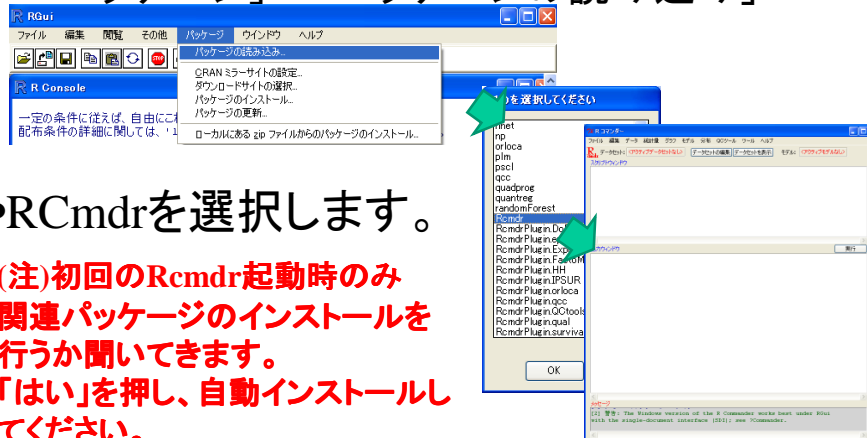
Rコマンドーの起動確認

2009年11月11日

- 手動でRコマンドーを起動する場合は以下のとおりです。
- 「パッケージ」⇒「パッケージの読み込み」

- RCmdrを選択します。

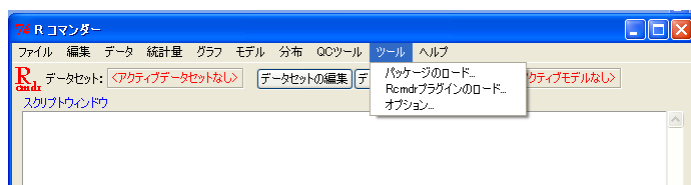
(注)初回のRcmdr起動時のみ
関連パッケージのインストールを
行うか聞いてきます。
「はい」を押し、自動インストールし
てください。



SQCプラグインの起動確認

2009年11月11日

- 手動でSQCプラグインを起動する場合は以下のとおりです。
- Rコマンドーの「ツール」⇒「RCmdrプラグインのロード」
- 「RcmdrPlugin.Qctools」を選択します。



Rのインストール(IM社内の人だけ)

2009年11月11日

- 面倒な人は、共用サーバ上のファイルをノートPCにコピーしてください。

[¥Uranus¥share¥R-2.9.2¥](#)

- レジストリ等の設定変更は必要ないため、フォルダ内の「Rgui.exe」のクリックで起動します。
- Rコマンダー、SQCプラグインも自動起動する設定にしています
- 借り物のノートPCの場合は、上記のR起動用フォルダをUSB(1GB以上のもの)にコピーして利用すると便利です

QC勉強会資料

.13.

2009年11月11日

Rのインストール(Mac)

QC勉強会資料

.14.

Rのインストール

2009年11月11日

- MacOSXをお使いの方は以下のサイトからベースパッケージをダウンロード、インストールしてください。

<http://cran.r-project.org/bin/macosx/>

- Rguiの起動はアプリケーション・フォルダのR.app をダブルクリックする(そうです)

Rコマンドーのインストール

2009年11月11日

- 「パッケージとデータ」⇒「パッケージインストーラ」
- 「Rcmdr」を選択し⇒「インストール／アップデート」

※このときに関連するパッケージを同時インストールする設定にするようです。

- 手順の詳細は群大の青木先生の丁寧なページをどうぞ。

<http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/R/begin.html>

SQCプラグインのインストール

2009年11月11日

- Windows版と同様に関西大荒木先生のページからZipファイルをダウンロードしてください。

<http://www.ec.kansai-u.ac.jp/user/arakit/RcmdrPlugin.QCtools.html>

- R.APPより「パッケージマネージャ」でインストールしてください。
- 多分これで大丈夫だと思います。

QC勉強会資料

Zipがインストールできなかったときには

2009年11月11日

- ソースコード(*.tar.gz)ファイルの再ビルドが必要です。

- 詳細はこの辺

<http://cran.r-project.org/bin/macosx/RMacOSX-FAQ.html#Installation-of-source-packages>

やこの辺

<http://cran.r-project.org/bin/macosx/RMacOSX-FAQ.html#Building-R-from-sources>

を参照してください。

QC勉強会資料

(参考)Rについてもろもろ

2009年11月11日

- 最新のパッケージは「CRAN」にあります
<http://cran.r-project.org/>
- お使いのプラットフォーム (Win/Mac/Linux) に合わせたプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
- Rには強力なサポートサイト「Rwiki」があります。
- 不明点や疑問などがあつたらまずここで検索を
<http://www.okada.jp.org/RWiki/>

Pentahoのインストール

2009年11月11日

Pentahoのインストール(1)

2009年11月11日

- 利用するモジュールはPentahoパッケージの中のDataIntegrationです。

以下のサイトから3.*をダウンロードしてください。

<http://sourceforge.net/projects/pentaho/files/>

- PCにJavaの環境があれば解凍したフォルダにある「spoon.bat」をクリックすると起動します。(Windows版の場合。Macもほぼ同等のようです)

21.

QC勉強会資料

Pentahoのインストール(2)

2009年11月11日



NoRepositoryで起動

22.

QC勉強会資料

Pentahoのインストール(3)

2009年11月11日

- レポジトリを作ると、変換テンプレート等の管理が容易になります。
- レポジトリをMySQL DBに作成します。
- MySQLにPentaho用のDBとユーザを作成して下さい。
 - 例
 - データベース: kettle
 - ユーザ: spoon/spoon
 - データベースkettleに対する全権限をユーザ spoonに付与

QC勉強会資料

23.

Pentahoのインストール(4)

2009年11月11日

- PCにJavaの環境があることを確かめて下さい。
- (1)でダウンロードしたファイルを解凍します。
- 解凍したフォルダにある「spoon.bat」をクリックすると起動します。

QC勉強会資料

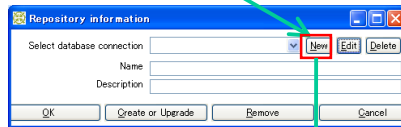
24.

Pentahoのインストール(5)

2009年11月11日



- レポジトリを登録します。

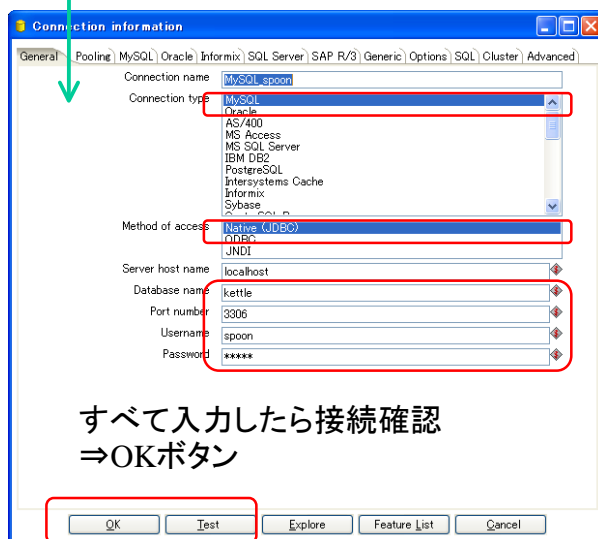


25.

QC勉強会資料

Pentahoのインストール(6)

2009年11月11日



DBでMySQLを選択

ドライバはJDBC

(2)で作成したデータベースユーザパスワードを入力

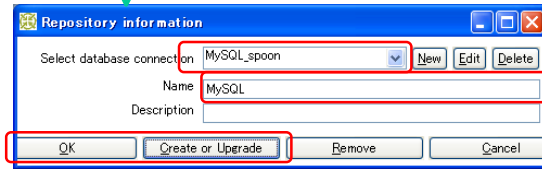
すべて入力したら接続確認
⇒OKボタン

26.

QC勉強会資料

Pentahoのインストール(7)

2009年11月11日



(5)で作ったコネクションを
選択
レポジトリの名前を設定

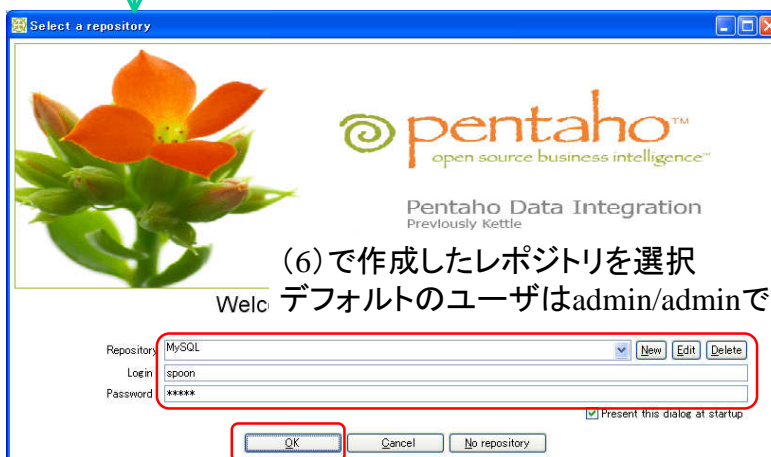
最後にレポジトリを作成
⇒OKボタン

27.

QC勉強会資料

Pentahoのインストール(8)

2009年11月11日



(6)で作成したレポジトリを選択
デフォルトのユーザはadmin/adminです。

起動します。

28.

QC勉強会資料